

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 4月28日

【評価実施概要】

事業所番号	2970101438
法人名	ホームケア株式会社
事業所名	ホームケア-佐保
所在地	奈良市法蓮町545-4 (電話) 0742-23-9828
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年4月18日

【情報提供票より】(20年4月4日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年11月 1日
ユニット数	1 ユニット
職員数	7 人
利用定員数計	9 人
常勤	4人, 非常勤 3人, 常勤換算 6.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造
	2階建て 1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,500 円	その他の経費(月額)	18,350 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	100,000円	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(4月4日現在)

利用者人数	9名	男性	4名	5名
要介護1	1名	要介護2	2名	
要介護3	2名	要介護4	1名	
要介護5	3名	要支援2		1名
年齢	平均 82歳	最低	61歳	最高 93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医)岡谷会 新大宮診療所・上林歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、住宅地の中の既存住宅を改装(一部増築)して事業開始されました。ホーム内は特別広くはないものの、襖や欄間がはめ込まれ温かみを感じられます。入居者は役割を分担し、また、趣味や特技を活かして本人の生活リズムで穏やかにすごされています。職員も一人ひとりの尊厳重視を基本に支援されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域との関りを大切され、ホーム便りが発行・配布されるようになりましたが、玄関の施錠は閉鎖的な印象を住民等に与えかねないことから、現在その有り方を模索中ですので、早期実現を期待します。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価する意義・目的等を理解されていますが、幹部職員が評価し、その結果を基に職員に周知・意見聴取の手順になっています。このことで、課題や問題点の共有は出来ませんが、最初の段階から職員が参加することで、なお効果が上がり意識付けに繋がるものと思料しますのでご検討下さい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	行政や地域の各種団体代表等により構成された運営推進会議が設置され、地域との関り方やホームに対する理解・促進への取り組み等様々な意見交換がなされています。しかし、地域代表者に運営推進会議について十分理解が得られていない面が窺えますので、認識を深める努力を期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議で意見・要望等を聞くと共に、個々の家族の訪問時に意見や不安を感じられている事等を積極的に聞き出し、サービスに活かす取り組みがあります。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入されていますが、日常的な繋がりは希薄と思われる。地域密着型に制度改正された趣旨を踏まえ地域社会との積極的な交流への取り組みを期待します。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「個」の尊厳を重視し、安心・信頼・快適を基本とした運営理念が作られています。		地域密着型サービスに制度改正されたことにより、地域との交流がより重視されおり、この視点も大切にした運営理念の作成と実践を期待します。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時や毎月の会議で実践に活かすよう話がなされている他、事業所内の観易い場所に理念の掲出があり共有化に努められています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入されていますが、各種行事への参加も消極的で地域との繋がりは希薄とされます。		ホームに対する理解・協力・関心を高め、また、入居者も住み慣れた地域・環境の中で暮らし続けるためには、地域社会との交流は欠く事の出来ない大きな要素でありますので、積極的な活動参加等を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の意義・目的は正しく認識され、サービスの質の改善・向上に活かす機会とされています。		自己評価に際しては、幹部職員が中心に評価が実施され職員に意見を求める事とされていますが、最初から職員の参画を求めることで、質の向上への課題や問題点等の把握と現状認識を深める上で効果ありますので、今後の自己評価に工夫される事を期待します。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	行政職員や地域の代表者・家族代表者等の構成による運営推進会議が設置され、会議の設置の趣旨や役割等の説明や地域との関り方や理解促進への取り組み等様々な意見交換がなされています。		自治会に加入されていても、日常的な繋がりが希薄な事から自治会代表者や地区民生委員の関心が低いようでありますので、会議の持つ機能等の理解促進への取り組みが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着サービスは、行政との連携は不可欠との考えから、運営上の諸課題の相談や情報交換等で担当窓口を訪問する機会を多く様に努められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、暮らしの様子が分かる写真を添付して書面で報告がなされ、また、家族の訪問時にも必要な事項は伝える事とされています。なお、健康上に変化等が見られる時には、その都度連絡・相談され適切に対応される仕組みになっています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に、暮らしの様子を伝えると共に入居者の希望等を相談され、また、家族の要望や意見を聞き出しサービスに活かす取り組みがなされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	安定した生活を維持する上で、馴染みの関係にある事も大きな要因であることから、極力異動等には配慮されています。また、職員異動等の場合には、しっかりした引継ぎに努められています。なお、職員のスキルアップを図るために法人内での異動がなされる時もあります。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の資質の向上は、サービスの質の向上に繋がる事を認識され、段階に応じて外部研修の受講に積極的に取り組みがなされています。また、管理者対象の研修も毎月法人内で実施されています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会の出席時等で、他の事業所職員との情報交換程度で、具体的な取り組みがなされていません。しかし、質を客観的に見るために、その必要性を感じられています。		良質なサービスの提供を目指して、事業所間の相互訪問等が検討されていますので、実現を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	環境の変化による心理面への影響に配慮され、家族と一緒にゆっくりと見学を実施され、希望があれば体験入居も取り入れ、納得の上での入居に繋げる取り組みがなされています。		食事やおやつの時間を入居者と共に過ごす事で馴染みの関係や雰囲気に馴れる機会の設定を検討されていますので、実現を期待します。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	全ての入居者は人生の大先輩と常に尊び、本人の体験や特技が生かせる場面作りに工夫され、共に学びあう姿勢の下での支援に努められています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の生活暦等の詳細な把握に努められる一方、暮らしの中の言動等に注意され意向・希望の把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は6か月を単位に、身体的ケアとともにその人らしさを引き出す計画とするため、主治医等関係者が相談され作成されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	身体的に変化が見られる時や定期的に行こなわれているカンファレスで生活面にも変化がある時は、随時に計画の見直しが行なわれています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況を勘案され、通院・買い物・一時帰宅等柔軟な支援に努められています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診希望者には、定期的に受診支援がなされており、その時に、本人の暮らしの様子を伝える等医療機関との連携に努められています。また、協力医による定期往診があり適切な医療への配慮が見られます。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族にとって終末期への関心が高いことを認識され、関係者が検討し、明確な方針が樹立されています。また、職員にもその意識付けと周知が図られています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「個」の尊重重視を基本に、職員は常にその言動等には注意・心がけし支援されています。なお、個人情報に関する書類等は、決められた方法・場所で管理されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の生活の流れの設定はありますが、起床・就寝・食事ペース・散歩等すべて本人のリズムを尊重され支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一日の暮らしの中で食事は楽しみ事に一つであることから、入居者もその能力の範囲で、食事の準備や後片付けに協働され、また、職員も同じテーブルで食事をされ楽しい雰囲気作りに努められています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯が設定されており、入居者の体調や希望を基に支援がなされています。		職員の勤務時間の都合から、夜間入浴への取り組みがなされていません。本人の希望に沿うために工夫・検討を期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生きる喜びを暮らしの中で実感できるように、特技が生かせる場面や役割意識の付与、趣味の実践等により豊かな暮らし確保への取り組みがなされています。また、金銭の自己管理できる入居者には、極力その方向で支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出から受ける刺激の効果を認識され、周辺の散歩やドライブ、また、近くの同法人運営のデイサービスの利用等戸外にてかける工夫がなされています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害について認識されていますが、安全確保を優先され、玄関を閉錠されている事が多くあります。		鍵を掛けない為への工夫を模索されている段階にありますが、入居者の行動パターンの把握やしっかりした見守りにより克服できる面もありますので、解決を期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災時を想定して地元消防署の指導の下に定期的な避難訓練が実施されています。		火災発生時は、入居者を迅速・安全に屋外に誘導する事が求められます。とりわけ手薄になる夜間等は周辺住民の応援・協力は不可欠ですので、応援・協力体制の整備と震災を想定して非常物品の備蓄についても検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取・補給の状況は把握されており、栄養バランスについても、偏りが無いよう献立に工夫されています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>中庭に面したリビングは、自然光が差し込み温もりがあり、居心地良く過ごせる空間となっています。また、トイレ・浴室も清掃が行き届き入居者に不快感を与えないよう努められています。また、ソファ等が適所に置かれ思い思いに過ごせる環境が整えられています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具・調度品や好みの品が持ち込まれ、安心して暮らせる場所となっています。</p>		